

1 学校教育目標

「進んで学習する子ども」「仲良く助け合う子ども」「礼儀正しい子ども」「元気でじょうぶな子ども」

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

| | |
|---------|---|
| ○学校像 | ◎ 夢 はばたく 梅島小学校 「子どもにとって安全・安心な学校」、「教職員が高め合う学校」、「保護者や地域と共に子供をはぐくむ学校」 |
| ○児童・生徒像 | う：運動で体を動かしきたえ合い め：目で見つめ心でみつめて思い合い じ：じっくり考え学び合い ま：まじめにやりぬき高め合い |
| ○教師像 | ・子どもの実態を的確に把握し、適切な指導ができる教師 ・主体的に課題解決をしながら、職務を遂行できる視野の広い教師 ・人間愛にあふれ、明るく前向きに対応する教師 |

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

学級数18学級、児童数約600名。創立134周年を迎える歴史と伝統のある学校である。全国小学校道德教育研究会全国発表校、区学力向上推進モデル校、都OJT推進モデル校、都校務改善推進事業、都伝統・文化教育推進校と伝統的に研究等に取り組んできた成果を生かして、教員一人一人の指導力を高めるとともに、学校全体の組織力も高めている。

【前年度の成果と課題】

◎ 重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

前期に実施した区学力に関する総合調査では、国語・算数ともに昨年度よりも通過率は向上したが、目標とする通過率85%にもう一步であった。その解消のために小中連携事業を核とした授業改善や、「パワーアップタイム」・「放課後タイム」等の補充学習の充実に努めてきた。

◎ 重点的な取組事項－2 安全・安心な学校生活環境の充実

「そう思う」50%以上の評価をいただいた項目は、後期では「安全な生活環境」1項目のみ。前期に比べると、3項目ともに低下。「だいたいそう思う」を加えた肯定的評価は、大きな変化は見られないため、取り組みの内容や成果等の情報発信をさらに充実させていく必要がある。

◎ 重点的な取組事項－3 保護者や地域と共に子供を育む活動の充実

「そう思う」50%以上の評価をいただいた項目は、2項目。特に、「情報発信」と「楽しく充実した学校生活」に関しては、60%以上を達成できた。引き続き、積極的な情報発信と保護者や地域と連携を深めた学校行事等を実施していく。

4 重点的な取組事項

| | 内 容 | 実施期間（年度） R:令和 | | | | |
|---|---------------------|---------------|----|----|----|----|
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| 1 | 学力向上アクションプラン | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 安全・安心な学校生活環境の充実 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 保護者や地域と共に子供を育む活動の充実 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

5 令和4年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1 | | 学力向上アクションプラン | | | | | | | |
|------------------------|--|---|--|---|--|--|------|-------------|-------------|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 (目標通過率) | | 実施結果 (通過率結果) | | コメント・課題 | | 達成度 ◎○△● | |
| 基礎的・基本的な学習内容の 確実な定着 | | 年度初 : 2教科とも85%以上 年度末 : 2教科とも70%以上 | | | | | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | | | |
| 新・ 継 | アクション プラン | 対象教科 実施教科 | 頻度・ 実施時期 | 具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように) | 達成確認 方法 | 達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度) | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 ◎○△● |
| 継 続 | ①パワーア ップタイム :漢字・計算 等の基礎 的・基本的な 学習内容 | ○全学年 ○国語・算数 | ○毎週8:25 ～8:40 火曜(国語) 水曜(算数) 金曜(読書) | ○担任 ○区調査や単元末テ ストで定着率の低い漢字 や計算の習熟 ○漢字・計算等 | ○パワーア ップテスト :漢字・計算 :年3回実施 ※6月は前 学年の内容 | ○漢字(6・11・2月) :目標値:80点以上 通過率:85%以上 ○計算(6・11・2月) :目標値:80点以上 通過率:85%以上 | | | |
| 継 続 | ②放課後補 習教室 :前学年及び 現学年の学 習内容の確 実な定着 | ○区調査目標 値未達成児童 ○単元末テ スト正答率70% 未満 ○国語・算数 | ○毎週火曜 放課後 30分間以上 | ○全教員 ○個別もしくは少人数 で指導 ○区学力調査、単元テ スト、ベーシックドリル等 | ○区調査再 実施 4・7月:前 学年の内容 1月:現学年 の内容 | ○区調査再実施 (1月) :国語・算数 通過率:70%以上 | | | |
| 継 続 | ③家庭学習 週間:家庭学 習の習慣化 | ○全学年 ○国語・算数 | ○6・9・11・ 1月 :各月1週間 | ○担任・保護者 ○「家庭学習カード」に よる学習習慣の定着 | ○各学年の 目標値の達 成率 | ○家庭学習週間(1月) :目標達成率75%以上 | | | |
| 継 続 | ④小中連携 事業による 授業力向上 | ○全教員 ○国語・算数・ 社会・家庭 | ○年間 | ○学年主任以外の教員 ○公開授業と協議会 ○成果を授業改善に | ○公開授業 と協議会の 実施 | ○年度末までに :学年主任以外の全教 員が公開授業を実施 | | | |
| 新 規 | ⑤ICT機器を 活用した指 導法の改善 | ○全教員 ○算数 | ○年間 | ○全教員 ○AIドリル・デジタル教 科書の効果的な活用 | ○教員アン ケート :1月 | ○教員アンケート :週1回以上AIドリ ルを活用100% | | | |

| 重点的な取組事項－2 | | 安全・安心な学校生活環境の充実 | | | |
|----------------------------|--|--|------|---------|-----|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 子供がより安全に、安心して学ぶことができる環境の確立 | | 学校評価アンケート ：「そう思う」50%以上 2項目以上 | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| (1) 安全な生活環境の確立 | 学校評価アンケート「安全な生活環境」 ：「そう思う」50%以上 | ①いじめ未然防止会議やSOSの出し方教育、研修会の開催 ②マイタイムラインや多様な避難訓練、避難所訓練への参加等の防災減災教育の実施 ③情報モラル教育の充実、SNSルール、保護者向け研修会等 | | | |
| (2) 健やかな心と体の育成 | 学校評価アンケート「健やかな心と体」 ：「そう思う」50%以上 | ①給食通信等による食育の啓発、目標残菜率2%以下 ②メール等を活用した歯科治療率5%向上 ③伝統文化体験や「もったいない」大作戦、「学校2020レガシ」の推進 ④年間を通じた体力向上の取り組み、生活習慣病の予防、運動環境の整備 | | | |
| (3) 誰もが学び、生活しやすい環境の構築 | 学校評価アンケート「学び、生活しやすい環境」 ：「そう思う」50%以上 | ①ユニバーサルデザインを活用した教室やワークスペース等の環境整備 ②男女混合名簿の活用や多様性の認知、言語環境、研修等の人権教育の充実 ③在籍学級との連携や個人カルテ、研修会、チューリップシートの活用等の特別支援教育の充実 | | | |

| 重点的な取組事項－3 | | 保護者や地域と共に子供を育む活動の充実 | | | |
|------------------------|--|---|------|---------|-----|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 保護者・地域と連携した教育活動の充実 | | 学校評価アンケート ：「そう思う」50%以上 2項目以上 | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| (1) 学校と保護者、地域との連携活動の充実 | 学校評価アンケート「保護者や地域との連携」 ：「そう思う」50%以上 | ①Zoom等を活用したグロブ ルティーチャーによる体験活動 ②保護者と連携した安全管理 や運営支援等の教育活動支 援ボランティアの活性化 ③開かれた学校づくり協議会 や地域と連携した環境整備 や地域行事の活性化 | | | |
| (2) 情報発信の充実 | 学校評価アンケート「参 加や報告の機会」 ：「そう思う」50%以上 | ①学校ホームページを活用し た教育活動やPTA、協議 会の活動の定期的な配信 ②学校メールの効果的な配信 に向けた体制の充実 ③ICTを活用したアンケート や連絡等のペーパーレス化 | | | |
| (3) 望ましい人間関 係の構築 | 学校評価アンケート「楽 しく充実した学校生活」 ：「そう思う」50%以上 | ①児童の発想を生かした学校 行事の事前事後指導の充 実、生徒会との交流 ②「なかよし班」等を活用し た異学年交流活動の充実 ③いじめ防止やSDG's、挨拶運 動などの児童会による学校 生活の改善に向けた主体的 な取り組みの実施 | | | |

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

◎ 重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

◎ 重点的な取組事項－2 安全・安心な学校生活環境の充実

◎ 重点的な取組事項－3 保護者や地域と共に子供を育む活動の充実

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）